



# 地域交流活動かわら版

2016/07/14 地域交流課 vol.17

## News! 地域連携ワークショップ『まちづくりに“新しい風”を』 学生、市民、行政関係者など170名が参加して開催しました！

井の頭キャンパス開校から1カ月半が経過した、5月21日(土)に大学、市民、事業者、行政関係者など約170名が参加。新緑のさわやかな風の中で盛大に行われました。

開会の挨拶として、松田副理事長は、「大学の専門教育や研究を、地域の活性化にどのように役立てられるかを皆さんと考えてゆきたい」と杏林大学と三鷹市のさらなる連携のスタートを宣言。跡見学長は「市民、行政、大学の三者の協働で、三鷹から新しい風を起こしてゆきましょう」と。また清原市長は、住民はじめ、在勤・在学者、ボランティア等の活動に携わる方すべての人が三鷹市民であるとしたうえで、「皆さんの、創意工夫と柔軟な発想で、新しい民・学・産・公の連携の形を見つけたい」と今後の活動に大きな期待を寄せました。



第1部は、①高齢者や一人暮らしの方などを対象した自分のためのガイドブック「私の案内書づくり」について(保健学部の兎澤恵子教授)。②子どもたちに命の大切さを伝える活動(保健学部の佐々木裕子准教授と学生)。③「国際交流フェスティバル」活動(外国語学部)。④商店会を紹介した「三鷹まち歩きマップ」の作製(総合政策学部)が、それぞれ発表しました。

第2部は、東北芸術工科大学の岩井秀樹氏をファシリテーターに迎え、協働のまちづくりワークショップを行いました。COCの3本柱である「いつまでも健康に暮らす」「生きがいのある暮らし」「災害に備える地域づくり」をテーマに、課題や解決方法について意見を交換しました。アンケートには、このような活動を今後も続けてほしいとの声をたくさん頂きました。



### 第17回 はないっぱいフェアーに参加しました！

平成28年6月7日(日) 三鷹の森通り東栄会主催の「はないっぱいフェアー」にダンス部の学生12名とマジッククラブの学生3名が参加しイベントを盛り上げることができました。

地域に溶け込む一つのきっかけとなった今回の活動で、ますます地域と大学の距離が近くなったような気がします。



# 三鷹・羽村・八王子 三市連携事業を展開

**New!** 杏林×アトレヴィ三鷹 協同プロジェクトが動き始めました!

杏林大学とアトレヴィ三鷹の協働事業がいよいよ動き始めました。

- ①情報コミュニケーション ②食コミュニケーション
- ③駅コミュニケーション ④生き生きコミュニケーション

この4本柱を中心にプロジェクトを展開。保健学部、総合政策学部、外国語学部の3学部の先生と学生が協力し、企画内容の完成に向けさまざまな方面で活動を開始しています。



## 羽村市立中学校救命指導実施

救急救命学科生が、羽村市の中学生にBLS指導を実施



6月10日(金)にBLS(一次救命処置)指導を羽村市内の中学3校、計520名の生徒に対して行いました。今年は救急救命学科3年生が生徒への直接の指導を担当し、胸骨圧迫心マッサージ、AEDの使用手順の解説や実技指導を実施しました。

受講した中学生からは、「倒れている人を発見したら自信を持って対応したい」と、一方、指導者として参加した本学の学生からは、「指導することの難しさを学び、充実感を得た」との感想がありました。

このBLS指導は、2010年から毎年実施していますが、防災における「共助」の力を育むことで地域に貢献することができていると考えています。

## 八王子 第11回学生天国に参加

HIV感染予防に関する情報提供を、八王子市保健所と合同で行いました。

5月8日、JR八王子駅前のユーロードで開催された学生天国に総合政策学部の北島ゼミナールの学生6名が参加。八王子市保健所の保健師さんと一緒にHIV/AIDSについてのクイズ、恋愛シミュレーションやコンドームの装着練習を行いました。

昨年と比べ、一般の方より学生が多いように見受けられたのが印象的でした。時間帯によっては全く人がいなかった時間もありましたが、学生や一般の方々にはHIV/AIDSに関する知識をより深めてもらえるいい機会となりました。

通行中の学生が足を止め積極的にクイズに答えたり、恋愛シミュレーションをしたりしているのを見て、10代~20代の若者たちが真剣にHIV/AIDSについて理解しようしている姿が印象的でした。



## 杏林大学 地域交流課

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1  
Tel 0422-47-8052 Fax 0422-47-8054



杏林大学



文部科学省

地(知)の拠点